

## 身近で役立つバイオの主役！農芸化学



バイオ・食品・自然環境など、身近にあるものを研究し、役立つものを開発する…そんな、私たちの生活に密着した学問が農芸化学です。本展示では、食品や微生物、酵素を使った実験をまじえて、農芸化学の魅力をお伝えします。

「将来は食品やバイオに関わる仕事がしたい」

「どんな勉強をすればバイオに進めるの？」

「農芸化学を学ぶと、どんな仕事が出来るの？」

などの質問や相談にもお答えします。

# 日本農芸化学会とは

## 人

会員数1万人以上！ 日本屈指の大規模学会  
研究者・技術者だけでなく、学生も多数参加  
中高校生も参加しています→(参) **ジュニア農芸化学会**  
**ジュニア会員**

## 学部

農学部だけではありません！  
医学, 薬学, 工学, 理学, 環境学, etc...  
バイオに関わる多彩な学部や研究所が参加  
企業(食品, 医薬, 化学など)も多数参加しています  
产学の交流が活発です

## 活動

4,500人以上が参加する研究発表会の開催,  
学術誌の出版, 教育支援など→(参) **公式パンフレット**

# ジュニア農芸化学会とは

日本農芸化学会が開催する**高校生**による研究発表会

全国から高校生が集まり、研究発表をします

毎年3月、年ごとに全国様々に会場を変えて開催されます

年次大会(本学会最大研究発表会)と同時開催なので、  
大学や企業で活躍する研究者とディスカッションしたり、  
先進の研究発表を聴いたりすることができます

## ジュニア会員

**中学生・高校生**も日本農芸化学会に入会できます

詳しくは



# ロールモデル(研究者)

東京大学 大学院 農学生命科学研究科附属  
アグロバイオテクノロジー研究センター 助教

よしだ あやこ

吉田 彩子 博士(農学)



## ★この分野を目指した理由

高校生のころ生物や化学に興味があり、始めは薬学部を意識  
進学振分時、研究対象の幅広さに魅力を感じ、農芸化学分野を選択

## ★研究の内容

微生物における代謝酵素の（調節）機能解明や構造解析  
→微生物による物質生産技術の基盤

## ★ワークライフバランス

一児（年長）の母  
日々、研究・教育と家事・育児の両立に奮闘中

# ロールモデル(大学院生)

東京大学 大学院 農学生命科学研究科  
応用生命工学専攻 修士2年

たかしま あや  
高島 綾さん



## ★この分野を目指した理由

高校生の頃、生命の不思議を紐解く学問である生物に興味を持つ  
研究対象の幅広さに魅力を感じ、農芸化学分野を選択

## ★研究の内容

外部からの遺伝子獲得に伴う細菌細胞の適応過程の経時的解析  
→微生物を用いた環境浄化技術の基盤

## ★プライベート

研究の傍ら、オーケストラで楽器（オーボエ）を吹いています

# メッセージ「農芸化学の魅力」

科学の基礎原理から製品開発に直結した応用まで、幅広く研究する**バイオの主役**です

食・健康・環境など、身近な問題を解決し、役立つものを生み出せる、**手ごたえ**のある学問です

**実験が多彩**で楽しいです

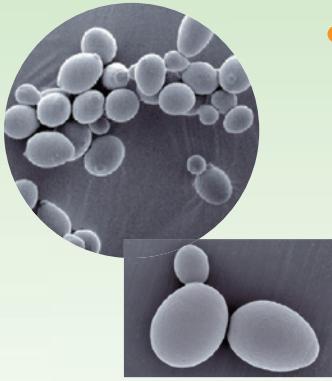
たくさんの女性研究者が活躍しています

農芸化学分野で活躍する女性研究者 [詳しくは](#)





● 健康の維持・増進効果を持つ特定保健用食品(トクホ)



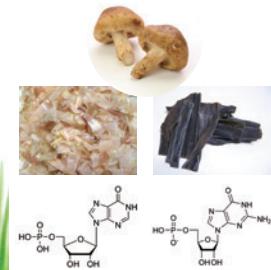
● パンやビールを作るのに欠かせない「酵母」



● アミノ酸を作る微生物「コリネバクテリウム」



● 伝統ある発酵食品を支える最先端技術



● うま味成分の相乗効果の発見



## 農芸化学会に入ろう!!

高校・中学教員の方は教育会員、大学生以上の学生は学生会員として入会可能です。会員になると、毎月、最先端のバイオ情報誌「化学と生物」と英文誌を読めるようになります。

### 学校の先生はお得な「教育会員」に!!

安価な年会費で、ジュニア農芸化学会での高校生の研究発表記事「農芸化学@High School」が掲載されている「化学と生物」を年間購読できます。詳しくは学会ホームページをご覧ください。

<http://www.jsbba.or.jp/join/>



■ 表紙  
渋皮のむけやすいクリ  
■ 今日の話題  
アコヤガイのゲノム解読  
■ 解説  
RIを利用した植物の元素動態のライブイメージング  
■ 農芸化学@High School  
粘菌はいかにして餌を見つけるか  
他、「セミナー室」「化学の窓」「生物コーナー」等



## 農芸化学会の活動

農芸化学を担う学会です。バイオサイエンス・バイオテクノロジーを中心とする多彩な(大学、研究所、企業)研究者、技術者、学生、団体など、約10,000名、400団体によって構成されています。

年1回各地で開催される全国大会は、発表演題数2,000題、参加者4,500人を超える化学・生物系の学会の中でも規模の大きい集会のひとつです。

支部大会・例会に加えて、公開シンポジウム、市民フォーラム、サイエンスカフェ、理科教育支援、出前授業などの普及活動なども行っています。

公益社団法人 日本農芸化学会 事務局

〒113-0032

東京都文京区弥生2丁目4番16 学会センタービル内  
TEL 03-3811-8789 FAX 03-3815-1920

本冊子は、古紙パルプ再生紙を使用しています。

農芸化学会  
の  
う  
げ  
い  
か  
が  
く



[www.jsbba.or.jp/nougei/](http://www.jsbba.or.jp/nougei/)

